

①業務改善事例	
職場ドック該当事例	
②府民サービス向上事例	○

チーム名	チームPM2.5
担当者 【所属名】	文化環境部環境・エネルギー局 環境管理課 五十嵐副課長、保本主査、岡田主査、横谷主任

タイトル	PM2.5・環境放射線 日本一わかりやすい情報発信
------	---------------------------

アピール ポイント	○こども達にわかりやすい啓発ビデオ開発！ ○全国発のdボタン活用！
--------------	--------------------------------------

背景	<p>PM2.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国大陸からの越境汚染等によりPM2.5への府民の関心が高まった ・国のホームページはフリーズ、問い合わせの電話が府に殺到 (府が測定・送信したデータを国が情報発信していたが追いつかず) ・国は、5時～7時のデータで注意報を発令を判断する指針を発表 ・市町村等から早朝出勤体制について不安と混乱 ・監視網は工場等の都市部中心で、越境汚染のような広域汚染には非対応 ・測定局は学校にも設置されているが、こども達へ情報発信機能がない <p>環境放射線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線情報発信について、インターネットでリアルタイム発信
----	--

改善 内容	<p>PM2.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国まかせにせず、府独自の情報発信システム整備 ・前日予報の監視体制を確立 ・新たに小学校と保育園に測定機設置し、監視網を更に充実 ・こども達や保護者への情報発信方法を先生と協議 <p>環境放射線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線情報をインターネット以外にテレビでも発信できないか、虎の門のマルチメディア振興センター、NHK、KBSと交渉
----------	---

成果	<p>PM2.5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国トップのきめ細かい監視体制整備、リアルタイムに情報発信 → 府民の安心安全に貢献 ・前日夕方に関係機関へ予測を連絡、早朝出勤を必要最小限に 全国初 → 関係機関から大好評 ・こども用のPM2.5啓発ビデオを作成、測定所で放映 全国初 → こども達の安心・安全に貢献 <p>環境放射線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタンで環境放射線データをリアルタイム発信 全国初 → 全国のモデルケースとなり、問い合わせが殺到
----	---

今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・更にPM2.5にもdボタン情報発信を拡充 ・環境データをわかりやすく視覚にうたえる情報発信に取り組む
-----------	--



PM2.5・環境放射線 日本一わかりやすい情報発信 チームPM2.5

PM2.5
関心高まる

監視網の充実

こども達への啓発

早朝注意報発令

国HPリリース

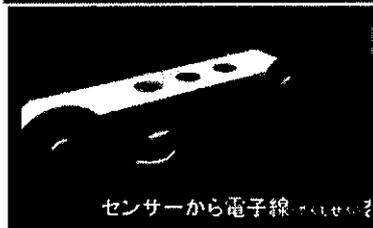
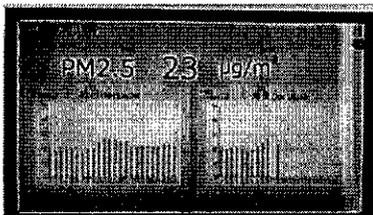
先生とコラボレーション

関係機関連絡会議を開催

予報体制を確立

全国初

増設局に子供・保護者用啓発ビデオ設置



センサーから電子線へ

全国初

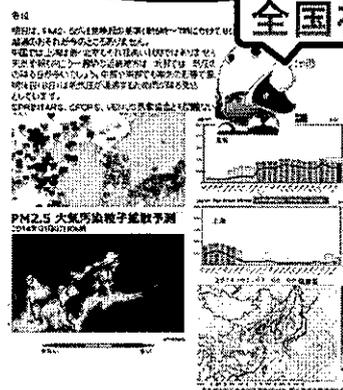


京都府 暫定指針値上回ると予測の場合 関係機関に一斉に連絡

府HPで発信

京都府 大気常時監視のホームページ

最新のPM2.5はこちら



京都府 大気常時監視のホームページ

環境放射線はHPで発信

放送局と交渉

テレビで情報発信

全国初



KBS京都

一般財団法人 マルチメディア振興センター
FMC Foundation for Multimedia Communications



④ボタンを押す

